

1 免震オイルダンパーの検査データ書き換えについて

1 本事業の概要

1 国土交通省公表の内容（10月16日）

▽「K Y B(株)及びカヤバシステムマシナリー(株)が製造した免震・制振オイルダンパーの国土交通大臣認定等への不適合」の発表

▽内容：検査データ書き換えによる大臣認定等に不適合な製品の出荷があった
不適合があった（不明を含む）製品は、共同住宅、事務所、病院、庁舎 等
986施設に設置されている

2 新庁舎の状況

▽新庁舎の免震層に設置している、カヤバシステムマシナリー(株)製造の免震オイルダンパー4個が国土交通省公表の対象製品と一致 **（資料1）オイルダンパー写真**

▽新庁舎で使用している免震部材の構成 **（資料2）新庁舎免震部材配置図**

- ① 積層ゴムアイソレーター 50個（製造会社 ㈱ブリヂストン）
- ② 鋼材ダンパー 8個（製造会社 新日鉄住金エンジニアリング(株)）
- ③ オイルダンパー 4個（製造会社 カヤバシステムマシナリー(株)）

※①アイソレーターは、建物を支え、地震のときに建物をゆっくり移動させる

※②、③ダンパーは、建物を支える役目はせず、アイソレーターだけではいつまでも揺れを止めることができないので、それを抑える働きをする

3 K Y B(株)より、周南市への説明（10月23日）

▽K Y B(株)対策本部より担当者が来庁

▽周南市に設置されているものは、確実に書き換えていないといえないもので「不明」の製品

▽K Y B(株)が早急に適合品への交換を進めていくこと

第三者機関による出荷時の全数立会検査により適合品とする

2 今後の対応

▽新庁舎の現状での安全性検証（11月末の予定）

- ① 安全性検証は、適合品への交換までの間、震度6強から震度7の地震に対して建物が倒壊のおそれがないかを構造計算を行い確認
(国土交通省の指導にのっとった検証方法による)
- ② K Y B(株)が、構造設計者である(株)日建設計へ検証を依頼し、結果について第三者機関にて確認

▽適合品への交換

- ① 適合品への交換は、K Y B(株)が建築J Vに依頼し行う
- ② 交換時期は、現在未定であるが、早急な対応を求めている

(資料 1)

新庁舎免震部材 カヤバシステムマシナリー(株)製オイルダンパー

新庁舎免震部材配置図

(資料 2)

<凡例>

符号	RB70	RB80	RB90	SD1	OD1
記号					
内部ゴム 外径D(mm)	700φ	800φ	900φ	-	-
免震装置種別	積層ゴム アイソレータ			鋼材ダンパー	オイルダンパー
	低弾性仕様	低弾性仕様	低弾性仕様		
	台数	6	33		
備考	#印を付記した箇所は、フランジ増厚タイプを示す。				

